



学校だより
大津市立堅田小学校
校訓「敬愛協力」

ゆうかり
夕雁

No.13

児童数 989名
学級数 36学級
令和7年1月7日発行



新年明けましておめでとうございます 2025年・令和7年 巳年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本校教育のためにご理解とご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

本年も、堅田小学校の教育目標である「**かたた**の子ども」（**か**んがえる子・**た**くましい子・**た**かめあう子）を目指し、育むため、教職員一同、力を合わせて取り組んで参ります。本年も変わらぬご支援、ご協力の程、よろしく願いいたします。

さて、2学期の終業式では、「自分の今年一年を振り返り、漢字1文字で表すとするなら、どんな漢字（言葉でもよいですよ）になりますか？」という話をしました。そして、今日、3学期の始業式では「一年の計は元旦にあり」という言葉について話してから、「学校生活の元旦は今日ですから、堅田小学校の目標の『**かたた**の子ども』について話します。」ということで「考える子」「たくましい子」「高め合う子」になってほしいという話をしました。

新年のこの時期は何か清々しい気持ちになります。元日の太陽の光は、昨日と1日しか変わらないのに、改まった新しい光に感じ、昔から言われる「新春」の言葉が思い浮かびます。この新年や後の新学年になる際に、これから始まる一年を展望し、どんな一年にしたいか、何をがんばりたいか、どんな自分になりたいか・・・と目標を持つことを子どもたちにも大切にさせたいと思います。

3学期はあっという間に過ぎていくとよく言われますが、学年のまとめをして振り返り、この学年になってできるようになったことやわかったことが増えたという達成感や満足感を持って、次の学年への期待にもつながる学期にしていきたいと考えます。

3学期も引き続きご支援とご協力の程、よろしくお願いいたします。

校長 山本 純子



【1月の主な行事予定】

新しくなった北校舎①

1月 7日（火）始業式 教育相談日（SSW） 3校時日課 11：25下校

8日（水）避難訓練 3校時日課 11：25下校

9日（木）給食開始 全校5校時日課

10日（金）全校5校時日課

13日（月）成人の日

14日（火）通常日課 5年防災学習 教育相談日（SC・SSW）

17日（金）大特連作品展＜～23日（木）＞

20日（月）校内書き初め展＜～24日（金）＞ 委員会活動

21日（火）教育相談日（SC）

22日（水）教育相談日（SSW） 6年堅田中学校招待授業（6校時）

24日（金）1年昔遊び（9：10～11：20） 大津市家庭科作品展＜～28日（火）＞

27日（月）教育相談日（SC・SSW） クラブ活動（最終）

28日（火）仰木中学校児童向け入学説明会 PM

29日（水）教育相談日（SSW）

30日（木）3年社会科見学（スーパーマーケット）



新しくなった北校舎②

※詳しい月予定については、各学年の学年通信をご覧ください。

※状況によって、予定を変更することもあります。ご承知おきください。

※子どもたちの活動の様子等を、本校のホームページの「校長室より（学校日記）」や「学年のページ」コーナーで随時紹介しています。是非ご覧ください。

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立堅田小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

教科に関する調査では、全国と同様に、国語科の「自分の考えを伝えるための書き表し方の工夫」について、算数科の「深い理解を伴う知識の習得やその活用」に課題が見られました。また、漢字や文法が本校の課題となっています。一方で算数の無答率（答えを書いていない問題）が大幅に減少し、全国や滋賀県よりも無回答率が低かったです。児童質問紙調査では、「自分にはよいところがある」、「いじめを許さない」、「生活の中で幸せを感じると思う」と答えた割合が高いです。

《強み・弱み》

〈国語〉

「話すこと・聞くこと」「読むこと」の内、回答を選択する問題については、全国や滋賀県に比べて正答率が高いものがありましたが、「書くこと」については全国や滋賀県に比べて正答率が低いです。記述式の問題の正答率が低かったことから、昨年度から実施している「書く力」を高める取り組みを継続します。

また、漢字の書き取りの問題や主語と述語を捉える問題では、全国や滋賀県に比べて正答率が低いです。「読み解く力」とともに、文章を書くために使える「漢字力」や「文法力」の向上を図っていきます。

〈算数〉

「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の問題で、全国や滋賀県に比べて正答率が高いものがありました。特に、道のりと時間から速さを求める問題では、全国や滋賀県の正答率を大きく上回りました。

一方で、「数と計算」の内、小数のわり算や計算の仕組みを説明する問題、また、「図形」に課題が見られました。特に、見取り図や、球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を立式する問題など、立体的な感覚を問われる問題に課題が見られました。国語と同様、記述式の問題の正答率が低かったことから、式や図、グラフを「読み取る力」「読み取ったことを説明する力」の向上を図っていきます。また、図形を立体的に捉えて考えるよう教育活動を工夫していきます。

【指導の充実に向けて】

- ☆学びの基盤を確かなものにするため、堅田小3つの約束（あいさつ・そうじ・聴く）を徹底していきます。
- ☆子どもたちの学習意欲は徐々に向上しています。学習に対する子どもたちの意欲・やる気・やってみようという気持ちを大切に授業を目指し、より一層の授業改善に取り組みます。
- ☆基礎・基本である計算問題や新出漢字の定着について、授業や家庭学習などで繰り返し取り組んでいきます。従来のドリル学習だけでなく ICT 機器を活用し、個々の課題にあった問題を反復できるようにするなど、子どもたち自ら意欲的に学習に取り組み、基礎学力を高められるようにします。
- ☆学年の実態に応じて「書く」活動を積極的に取り入れていきます。これまでの取組で「書く」ことへの抵抗は少なくなっていることから、短時間で「書く」、条件に合わせて「書く」ということを意識して取り組んでいきます。
- ☆「読み解く力」の向上に向け、読書活動の定着・充実への取組（朝読書・読み語りなど）を続けていきます。また、図やグラフ、表などの資料の読み取りも重視していきます。
- ☆ソーシャルスキルトレーニングを取り入れることで、普段の授業・学習に相互を尊重しながら積極的に課題に取り組む姿勢を育てます。
- ☆家庭・地域・学校で、子どもを認めほめる取組を進めていくことで、子どもたち一人ひとりがより一層自己肯定感を感じられるよう取り組みを進めていきます。